



龍谷大学
地域人材・公共政策開発システム
オープン・リサーチ・センター

京都地域を対象とする資格認証システム

龍谷大学地域人材・公共政策開発システム
オープン・リサーチセンター(LORC)
センター長 白石克孝

海外調査から京都への提言のイメージ

京都府内で展開する教育・研修プログラムの構築

英国での資格開発と授与の仕組み

EUでの学位資格と職能資格の標準化の仕組み

アメリカでの民間機関による認証と質保証の仕組み

英国での資格開発と授与の仕組み

認証に関する2つの国の機関

一般資格と職能資格

QAA (Quality Assurance Agency for Higher Education)

高等教育機関（大学、大学カレッジ、高等教育カレッジ）

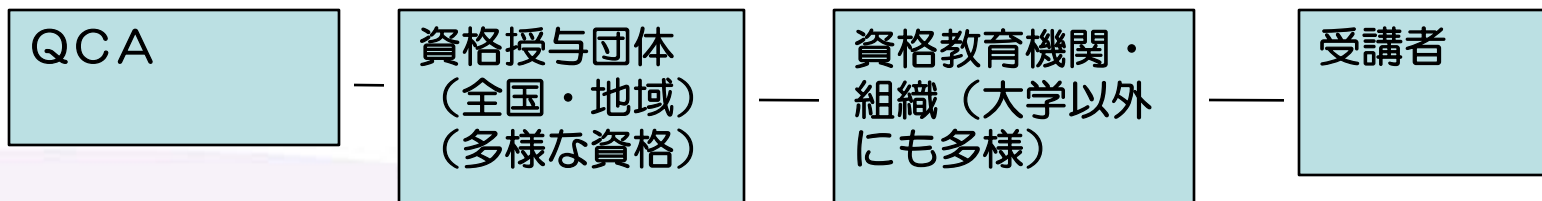
一般（高等教育）資格を提供

QCA (Qualifications and Curriculum Authority)

初等・中等教育機関

社会人教育（生涯教育）機関・組織

職能資格を提供



英国での資格開発と授与の仕組み

一般資格と職能資格のための新しいフレームワーク

高等教育資格フレームワーク

(Framework for Higher Education Qualifications : FHEQ)」2001年導入

全国資格フレームワーク

(National Qualifications Framework : NQF)」2002年導入

レベル	F H E Q	N Q F
8	博士 (Dレベル)	NVQ 8
7	修士 (Mレベル)	NVQ 7
6	学士 (Hレベル) ・ 学士 (Honor) ・ 大学院Certificate, ・ 大学院Diploma	NVQ 6

アカデミックな資格と職能資格との互換性を確立していこう

英国での資格開発と授与の仕組み

職能資格の開発と授与団体

全国職能基準（National Occupational Standards : NOS）

職能基準をセクタースキル協議会（Sector Skills Council）が開発
— 政府から支援を受けた非営利民間組織が担当
職能分野ごとに設立

セクタースキル開発エージェンシー

セクタースキル協議会を支援する政府機関

職能基準（NOS）の開発から新しい職能資格へ

職能基準のパイロット実施とコンサルテーション
資格授与団体が新しい職能資格を開発

既存のユニットと新ユニットの組み合わせによる新しい職能資格

ユニットの組み合わせレベルで授与団体が職能資格を開発可能

英国での資格開発と授与の仕組み

カリキュラムとしての特徴

資格のプロバイダー

大学が高等教育資格と職能資格の両方のプロバイダーになれる
大学以外の様々な機関が職能資格のプロバイダーになれる

カリキュラムのユニット化

資格授与団体が認証（award）したカリキュラムの一定の固まり
いくつかのユニットを修了することで職能資格として取得可能に
現段階では異なる授与団体からユニット取って資格にはできない

大学のカリキュラムとの連携

大学自身がユニットを資格授与団体と共同開発して教育・研修
一部の手大学を除けば、職能資格との互換性に配慮
一部では職能資格に単位を与えて、大学が大学単位との互換性を認知

EUでの学位資格と職能資格の標準化の仕組み

欧州資格フレームワーク（European Qualification Framework）

学位（教育）資格と職能資格との互換性

教育と職能の両方を扱い、互換性を追求

8つのレベルの資格区分

職能資格を体系的にし、標準化する

各国が職能資格制度を整備する

小学校から大学・大学院までの学歴は各国で対照可能

学歴と比較する形で職能資格をレベル付け、互換性を持たせていく
（英国のように単位レベルまで互換性を持てるのは少数派）

目標

アカデミックなトレーニング、職業的なトレーニング、自己実現とが同時に実現できる仕組みを

人生のどの段階からでも学習ができ、新しいキャリアパスを開ける社会に

→ 「資格」が通貨のように流通する社会

EUでの学位資格と職能資格の標準化の仕組み

欧州資格フレームワークのレベル6～8

Each of the 8 levels is defined by a set of descriptors indicating the learning outcomes relevant to qualifications at that level in any system of qualifications.

		KNOWLEDGE	SKILLS	COMPETENCE
		In the context of EQF, knowledge is described as theoretical and/or factual.	In the context of EQF, skills are described as cognitive (involving the use of logical, intuitive and creative thinking) and practical (involving manual dexterity and the use of methods, materials, tools and instruments).	In the context of EQF, competence is described in terms of responsibility and autonomy.
LEVEL 6**	The learning outcomes relevant to Level 6 are	advanced knowledge of a field of work or study, involving a critical understanding of theories and principles	advanced skills, demonstrating mastery and innovation, required to solve complex and unpredictable problems in a specialised field of work or study	- manage complex technical or professional activities or projects, taking responsibility for decision-making in unpredictable work or study contexts - take responsibility for managing professional development of individuals and groups
LEVEL 7***	The learning outcomes relevant to Level 7 are	- highly specialised knowledge, some of which is at the forefront of knowledge in a field of work or study, as the basis for original thinking and/or research - critical awareness of knowledge issues in a field and at the interface between different fields	specialised problem-solving skills required in research and/or innovation in order to develop new knowledge and procedures and to integrate knowledge from different fields	- manage and transform work or study contexts that are complex, unpredictable and require new strategic approaches - take responsibility for contributing to professional knowledge and practice and/or for reviewing the strategic performance of teams
LEVEL 8****	The learning outcomes relevant to Level 8 are	knowledge at the most advanced frontier of a field of work or study and at the interface between fields	the most advanced and specialised skills and techniques, including synthesis and evaluation, required to solve critical problems in research and/or innovation and to extend and redefine existing knowledge or professional practice	demonstrate substantial authority, innovation, autonomy, scholarly and professional integrity and sustained commitment to the development of new ideas or processes at the forefront of work or study contexts including research

アメリカでの民間機関による認証と質保証の仕組み

NASPAAによる認証 (accredit)

公共政策、公務全般、行政にかかる専門職教育プログラム

- 修士課程に照応
大学が機関としての認証を受ける

アメリカでの民間機関による認証と質保証の仕組み

NASPAAの認証業務の特徴

認証のための基準

設置基準（インプット）

教員数や学生のための施設なども

教育の目的設定（ミッション）

09年に改訂予定のミッションには、

パブリックガバナンス

ポリシープロセスへの参加

社会の平等性

物理的環境的サステナビリティ

といった新たな目的も加えられようとしている

教育の成果（アウトカム）

ミッション重視 → アウトカム重視

アメリカでの民間機関による認証と質保証の仕組み

認証更新のための手続き

定期的な自己点検評価書の作成

- 大学にとってはコスト
- 教育目的を共有するチャンス
- 普段していない細部の点検

サイトビジット

- 専門的第三者からの助言の機会でもある

アウトカムの評価

- 完全に定型化されているわけではない

質の保証に最大の力点

日本での展望(アイディア)

折衷したアイディアとしての日本型地域資格制度

資格の認証と評価

地域公共人材開発機構が機関ではなく教育・研修プログラムを認証
資格の質保証に関わる評価

資格のプロバイダー

大学・大学院が高等教育資格と京都型職能資格の両方のプロバイダーに
大学以外の様々な機関・組織が京都型職能資格のプロバイダーに

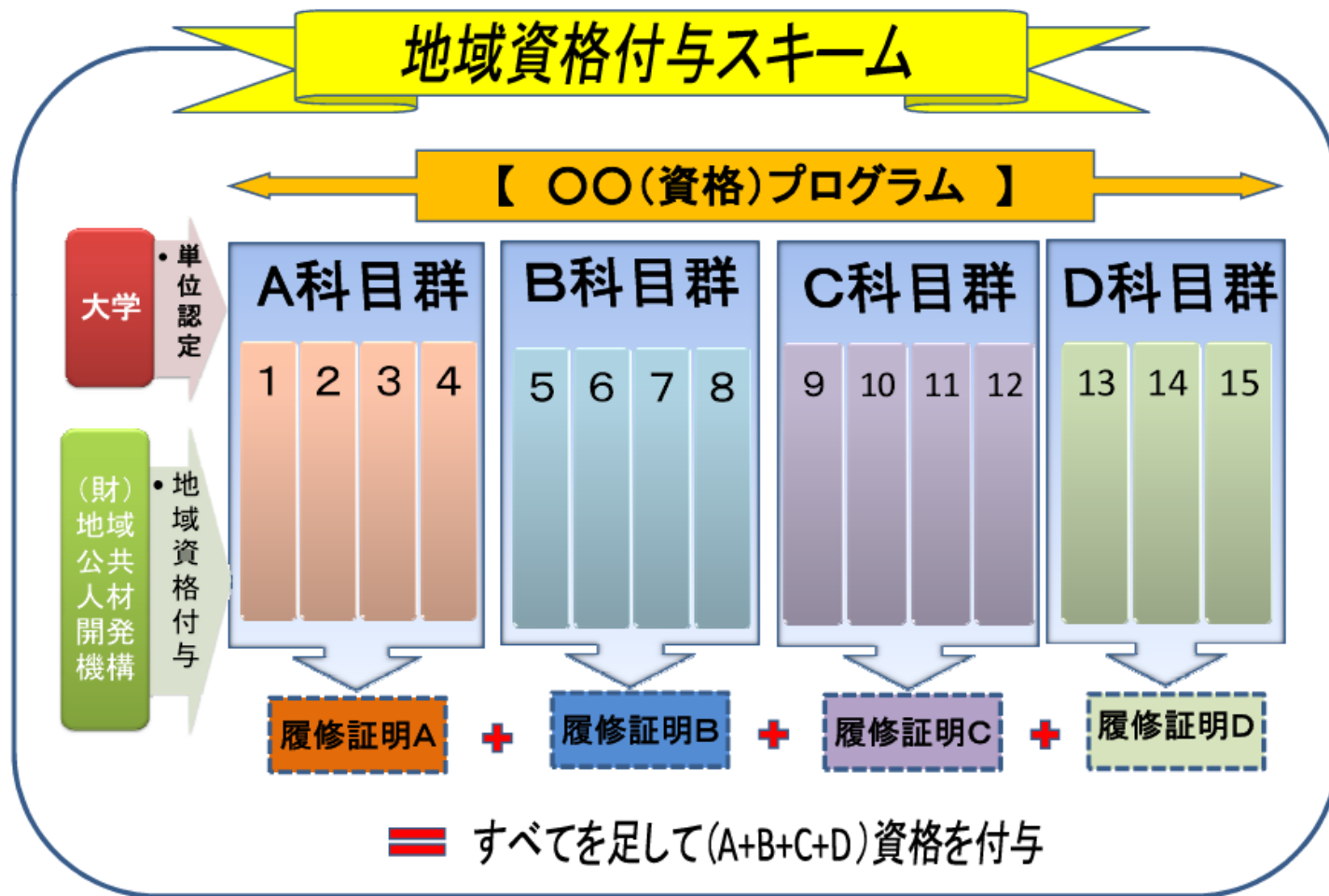
カリキュラムのユニット化と履修証明制度

地域公共人材開発機構と資格プロバイダーが共同してユニットを開発
大学が関与する場合は文科の履修証明制度として単位を付与可能に
履修証明制度とリンクしたユニットの単位を大学が認める
学部・大学院の通学期間を短縮することができる

欧州資格フレームワークの参照

開発する資格やそのユニットの基準に互換性を持たせる（当面Lv 6～8）

日本での展望(アイディア)



日本での展望(アイデア)

既存の教育や研修の資源を活用する

ユニット開発の発想

すでに各団体が実施している研修を改善していく
現場のニーズが反映されるような英国型の柔軟な基準作り
履修証明制度を個別のユニットとリンクさせて小資格にする可能性も

例：ファシリテーター履修証明

環境マイスター履修証明

地域資源と人材能力の可視化のツールとしての地域資格

資格開発のなかで目標の共有過程を

再チャレンジ可能な社会に

協働型の社会に

← 地域力の高まりと個々人の能力発展をリンク